

## &lt;地域公共交通計画の評価等結果の様式&gt;

長久手市地域公共交通計画の評価等結果（R6年4月～R7年3月）

目標		目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
市内基幹交通（リニモ、名鉄バス）及び補助交通（N-バス）の利用者数合計	合計：5,317,000人/年 リニモ：4,386,000人/年 (市内6駅の乗車客数) 名鉄バス：790,000人/年 (市内バス停利用者数) N-バス：141,000人/年	N-バスの移動ニーズを分析し、地域に適した運行体系の検討を図るとともにバスマップや広報誌での情報発信、周知を図る	交通事業者の利用実績	合計：5,751,074人/年 リニモ：4,531,000人/年 (市内6駅の乗車客数) 名鉄バス：806,000人/年 (市内バス停利用者数) N-バス：141,074人/年	公共交通の利用促進に関するイベント・広報等の取組を継続的に行い、市民の利用意識の向上や来訪者への周知を図るとともに、デマンド型交通実証実験の結果を基に地域・市民ニーズに適した運行体系の分析と見直しを図る。	R6年4月～R7年3月の実績
利用促進に関する市の取組の拡大	5種類	市民参加型の利用促進の展開・継続や公共交通に関する周知・広報活動の強化	長久手市の利用実績	7種類 (公共交通フェスタ開催、尾三地区イベント、N-バスソング披露、ながくて移動手段ガイド作成、シェアサイクルポート増設、カプセルトイ等啓発品の作成、福祉と連携した利用促進策の展開)	公共交通応援隊など市による周知・広報活動を継続するとともに、市内外の関係機関とも連携したイベント開催や普及活動等、利用促進施策を展開する。	R6年4月～R7年3月の実績
公共交通を便利にする取組の満足度向上（満足割合の増加）	25%以上	移動ニーズに合わせた路線再編と公共交通間の乗り継ぎ性の強化	市民アンケート調査	-	N-バスの運行体系に係る不満が割合として大きいため、デマンド交通の実証実験の結果等から市民ニーズを分析する。	R9年に評価
公共交通利用を考える意識の向上（利用を考えない割合の減少）	20%未満	キッズズイベントグループによる子ども向けのイベントの開催 市ホームページ、広報紙、バスマップでの周知	市民アンケート調査	-	公共交通に関するイベント等の取組を継続し、市民の公共交通への醸成を図る。	R9年に評価
各公共交通を利用しない理由で「バスがどのように走っているか分からぬ」という回答割合の減少	名鉄バス：14%未満 N-バス：17%未満	市ホームページ、広報紙、バスマップでの周知	市民アンケート調査	-	全年代に向け、幅広く周知を図るため年齢層に応じて評価	R9年に評価

(記載に当たっての留意事項)

- 本様式中、表題の「(○年○月～○年○月)」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「-」と記載して下さい。
- 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。